



# 学校だより

令和5年9月4日  
市川市立第六中学校  
校長 植木 昭貴

## 【リセットのすすめ】

42日ぶりに生徒が登校し、学校に活気が戻ってきました。

さて、前回の学校だよりで「時間を有意義に」という内容の記載をしましたが、生徒の皆さんは夏休みを有意義に過せましたか？「なりたい自分」や「なりたい状態」に近づくことはできたでしょうか？今回の学校だよりも引き続き「時間の使い方」について触れます。



6月下旬に実施した生徒と保護者対象の学校評価アンケートで、気になる結果となったものがありました。それは、「毎日、家で勉強するようにしている（お子さんは家庭学習の習慣が身についている）」という質問に対して、「そう思う・ややそう思う」の肯定的な回答が前年度同時期と比べて生徒は-12ポイント（64%→52%）、保護者は-8ポイント（57%→49%）と大きく減少しています。さらに、「規則正しい生活習慣が身についている」や「携帯電話やスマートフォンの使い方を正しく理解している」という質問においても、生徒・保護者ともに肯定的な回答が減少しています。この結果は、特定の学年ではなく、六中の全学年に共通した傾向でした。

コロナ禍による制限が緩和され活動範囲が増えたことなど様々な要因はあると思いますが、最近における時間の使い方に課題を感じている生徒は多くいるのではないかと感じています。

そこで試してもらいたいのが「リセット」です。生活習慣が変わるこの時期をチャンスと捉え、なし崩しの自分と決別し、「前期中に、二学期中にこうなりたい」などの中期的な目標を立て、何か新しい取組や意識を取り入れてみてはどうでしょうか。特に学習習慣に課題を感じている人は、たとえ10分程度の短い時間でも家庭でやってみるといいと思います。大事なものは持続可能であることです。人は大事な局面や節目を迎えた時、多くの人が「もっと〇〇しておけばよかった。」「あの時△△すればよかった。」などの後悔を抱くといいます。前号でも紹介した内容ですが、特に夏休みの過ごし方に課題や後悔が残った人は本気の「リセット」を勧めます。きっと変わっていく自分に気分も新鮮になると思います。

## 【総合体育大会】

運動部では7月より総合体育大会（以下「総体」）が行われました。総体は多くの運動部が最も目標としている大会で、特に3年生にとっては最後の公式戦となるため、格別の思いをもって大会に臨みました。

私もいくつかの会場を訪れ応援しましたが、どの種目の試合も選手の熱い思いが伝わる素晴らしい戦いが展開されました。また、選手だけでなく、会場で応援していた生徒や保護者の方たちも、勝利を信じて選手と同じ気持ちで戦っていた姿も心に焼き付きました。結果はそれぞれでしたが、その場にいた全ての人にとってかけがえない経験や思い出となったことと思います。

部活動で培ったチームの絆、物事へ取り組む姿勢や集中力、礼節や感謝の気持ちは、きっと生徒たちにとって貴重な宝となるでしょう。これらを3年生は次の目標に向け、1,2年生は新チームに向けて生かしてほしいと思います。なお、支部総体で入賞し、県大会や関東大会、全国大会で活躍したチームや選手もいました。

※入賞状況を裏面に紹介します。

